



# はなさと だよさと

第227号  
2024/10/1

## はなさと敬老会

九月十八日にはなさと敬老会を行いました。昨年は二階・三階合同での開催、デイケアでの開催と異なる会場での開催でしたが、今年はデイフロアにてデイケア・二階・三階の三つのフロアが合同で開催することが出来ました。今年の敬老会ではシルバードの生演奏・生歌披露していただきました。バンドの演奏は「きよしのブンド」節「君といつまでも」等皆さんも知っている歌を披露して下さいました。最後には「はなさと」を利用者の方々と歌われました。利用者の方々は知っている曲が沢山あり笑顔で聞かれてみました。



## 認知症サポーター 養成講座

敬老会と同日に認知症サポーター養成講座が開催されました。認知症サポーターとは、認知症に対する正しい知識と理解を持ち地域で暮らす認知症の方やその家族に対して出来る範囲で手助けする人の事を言います。

この「認知症サポーター」を全国で養成し、認知症高齢者等に優しい地域作りに取り組んでいます。今回の開催では、はなさとスタッフをはじめ病院



スタッフも多く参加していただきました。今後も開催を計画していきたいと考えています。スタッフはもちろんの事、ご家族もぜひ参加をお待ちしております。

## お世話になりました



理学療法士 野末諄也

はなさとで三年間お世話になりました。この三年間ではコロナウイルス流行に伴い、行事の中止や縮小がありました。縮小された行事では各フロアでスタッフが考えた催し物を楽しませていただきました。最近夏祭りや敬老会などコロナウイルス流行前に近づいた形で行事が実施され、利用者の笑顔や涙がみられたことが良い思い出です。自分も準備スタッフとして関わったことをうれしく思います。

今年一月には能登半島地震により、はなさととは十名の高齢者を受け入れられました。私はリハビリ介入だけでなく、能登から知らない土地にきた方がいかに落ち着いて、また楽しんで生活してもらえようかと考えて関わらせていただきました。まだ、はなさとに残っている方もいるのでみなさんが元気に能登に帰れることを願っています。

今後私は病院に戻ることにになりました。はなさとでは病院で経験することができない入所利用者の生活や自宅生活、デイケアなど在宅に密着した関わりをもつことができました。これからも、はなさとで学んだことを生かしていきたいと思えます。ありがとうございます。